

ハレまちな日常 book

vol.3

2026
MARCH

オカヤマの公園は、
フリースタイルで使いこなす



公園とは

公園は、だれもが自由に出入りでき、休む・遊ぶ・運動する・人と集うといったことができる、公共のオープンスペースです。日本のマチナカの公園の多くは「都市公園法」にもとづいて自治体が設置・管理しており、レクリエーション、緑や景観の保全、コミュニティの場、災害時の避難場所などの役割を担います。



OKAYAMA CITY PARK

岡山の公園は
いつでもどこかで
何かが起きている

ハレの国・岡山は、1年を通して晴れの日が多いまち。だからでしょうか、岡山の人たちは外で過ごすのがとっても上手です。芝生に寝ころんでお昼ごはん、ベンチで読書、子どもとボール遊び。特別な予定がなくても、なんとなく公園に立ち寄って、思い思いの時間を過ごします。なぜなら、公園とは「これ」といった決まった使いかたが、実は決まっていない、まちの余白だからです。また、公園もさまざまな楽しみを用意しています。マルシェが並ぶ日もあれば、音楽イベント、楽しい外飲み企画もある。同じ公園が人によって季節によって、ちがう顔を見せてくれます。マチナカにはそんな公園が歩いていける距離にいくつもあるんです。

マチナカの公園を
楽しく使うお約束TO ALL VISITORS
TO THE PARK

[守ってもらえるとうれしいこと]



やわらかボール
危険なボール遊びは
控えて安全に楽しもう。



芝生と草花は空
ゴルフやスパイク靴で
傷つけないようにね。



ゴミは持ち帰り
みんなで気持ちよく
きれいに使いましょう。



朝と夜は静かに
日中も周りに気を
つかって静かに過ごそう。

[してはいけないこと]



園内は火気厳禁
たばこも花火もバーベ
キューもひかえてね。



自転車はおりて
スケボーや自転車は
乗らずに歩きましょう。



餌やりはやめて
鳥やネコにはエサを
あげないようにしてね。



宣伝販売はNG
許可のない広告や宣伝、
物品の販売はやめま
しょうね。

PARK RULES

INDEX

park 1 下石井公園	P4
park 2 西川緑道公園	P8
park 3 岡山県総合グラウンド	P10
park 4 石山公園・岡山城・旭川流域	P11
みんなのすぐそばにある公園	P12

PARK FURNITURE



column

岡山の「パークナイズ」を確かめました

パークナイズとは、建築家・馬場正尊さんが名づけた、都市が公園化していく現象のこと。まちに公園を増やすことではなく、まちそのものが、目的がなくてもいられる公園のようにおらかな場所になっていくことです。

岡山神社



神社の境内に現代アートを置いたらどうなるか？と馬場さん

お散歩のスタートは岡山神社。宮司の久山信太郎さんは「神社は人が集う場所」といい、神社をまちに開く活動をしています。境内には岡山芸術交流をきっかけに置かれたダン・グラハムの現代アートが常設。
馬場さん「神社ってパブリックとプライベートの境界線みたいな場所でしょう。そこに現代美術をポンと置いたら、その軽やかさが、このまちでいうところの『可能性の記号』になっているんだよね」

旭川



観光客と地元民が入り混じる汽水域のような場所



気軽に来店できる「パブリックカウンター」

旭川河川敷から西川へ路面電車で移動

岡山神社を出て旭川沿いへ。ランニングする人、河原でくつろぐ人が思い思いに過ごします。平日は観光客より市民が多く、水辺が日常として使われています。
馬場さん「他のまちは観光地と市民の暮らすスペースがしっかりわかれてるイメージだけど、岡山は入り混じっているね。それがお互いにとって得難い価値になっています」

Masataka Baba

馬場正尊さん

ばば まさたか

PROFILE

オープン・エー代表取締役／建築家／東北芸術工科大学教授。1968年佐賀県生まれ。早稲田大学大学院建築学科修了。博報堂、雑誌『A』編集長を経て、2003年OpenAを設立。「東京R不動産」「公共R不動産」の立ち上げ、沼津市の公園一体型宿泊施設「INN THE PARK」運営など。近著に「パークナイズ 公園化する都市」(学芸出版社、2024)、「あしたの風景を探しに」(どく社、2024)など。

西川緑道公園

ハレまち通り

下石井公園

NISHIGAWA TERRACE

岡山駅から300mの近さにある西川用水。1970年代の高度経済成長期、全国の都市では用水が埋め立てられていました。当時の岡山市長は、あえて車道を狭めて、マチナカに失われたつづいた緑を回復するために緑道公園をつくりました。閉鎖された旧西川橋交番を壊さず活かす試みも計画中。

馬場さん「おもしろい！全国的にも交番が余ってる気がする。僕もメディアで紹介したい！」



歩いて楽しい岡山のまちはこの緑道からはじまった



マルゴデリのジュースでまちをリビン中に



広々とした公園は走りたくなります



ファミチャーと体験！



NISHIGAWA TERRACEの屋上からの眺め。豊かです



マチナカで珍しい非住宅の木造建築

馬場さん「ユウザリとしての経路がある、まちづくりの見え方が変わる。すこしい経験だと思いました」

2021年の人工芝の社会実験をきっかけに、2024年、グラウンドが天然芝になりました。芝生があるだけで、ぐつとみんなが集います。岡山大学の学生が作った県産キノコのフアンニチャーで子どもたちが自由に遊びます。馬場さん「天然芝にして利用もイベントも増えたと聞きます。でもこの設計だと夏は芝生ほとんど日陰ができません。その課題をホジタイプに変えるシナリオが必要かもしれません」

西川緑道公園沿いに2025年に生まれた総木造の複合施設「NISHIGAWA TERRACE」。西川沿いで育った建築家が「西川の自然が漏れ出たような建物がここにふさわしい」という思いとともに建築。テラスワーク空間に水と緑が循環し、入居するのは手探りの個人店ばかり。

馬場さん「この循環の仕組みは今っぽいね。それに建物ほかにいいだけじゃなくて、中で何が営まれているかが大事なんだよね」

- ☒ 神社に現代アートが置かれた軽やかさ
- ☒ 通りが公園のハレまち通り、公園が通りの西川緑道公園
- ☒ 観光と暮らしが入り混じる旭川の川辺
- ☒ 芝生が育むみんなの居場所、下石井公園

☑ SHIMOISHII PARK

(芝 生)



2024年に天然芝になった芝生広場。ふかふかの芝は裸足で走っても気持ちよく、寝ころべば、まちの真ん中とは思えない開放感です。芝生を長持ちさせるための養生期間は、お休みの合図。みんな芝を見守りましょう。

(日 常)



朝は身体を動かす老若男女、昼は、お弁当を広げる人や読書をする人、放課後は子どもたちの遊び場。ペットOKの芝生エリアでは犬たちのびのび。市民みんなの日常にずっと溶け込んだ居場所があるって幸せなことです。

(ファニチャー)



岡山大学の学生たちと一緒に作りあげた、岡山県産ヒノキのファニチャー。トンネルにしたり、日陰にしたり、使い方は自由自在です。座る、遊ぶ、憩うがひとつになった、芝生広場のあたららしい相棒に。その他、公園を楽しむグッズを貸出中。

DATA
下石井公園 (しもいいこうえん)
岡山市北区幸町

park 1

下石井公園



市民のリビングは
毎週末、装いが変
わる

JR岡山駅から歩いて約15分。市立図書館や保育園が隣り合うマチナカの真ん中に、下石井公園はあります。2021年に人工芝を敷いた社会実験をきっかけに、2024年、グラウンドは天然芝に生まれ変わりました。裸足で走れる芝生広場には、子どもも大人も犬たちも集まって、思い思いの時間を過ごします。マーケットや教室などのイベントも目白押しです。岡山のパークナイズを牽引するマチナカの公園に。

park 1

SHIMOISHII PARK



Cleanup & Coffee Clubの略。隔月土曜の朝、ゴミ拾いでまちをきれいにしたあと、コーヒーマシーンでおしゃべりを楽しみます。マイカップと軍手があれば、だれでも気軽に参加OK。週末のはじまりにぴったりです。

column

養生中は芝生をお休みさせよう

ふかふかの天然芝を保つために欠かせないのが養生期間。傷んだ芝生をしっかりと休ませて、また元気な姿に育てるための、いわば公園の充電タイムです。ロープが張られている間は休みのサイン。そっと見守ってください。

「CCC」

「モルック教室」

木の棒を投げて、倒したピンの数や数字で競うフィンランド生まれのスポーツ。力よりも戦略と正確さが勝負のカギで、子どもからシニアまで一緒に楽しめます。岡山大学モルックサークルの学生たちを講師に、芝生広場でモルック教室を開催。気持ちのよい青空の下で、新しいスポーツに挑戦できます。



みんなで公園を育てる仕組みを考えよう 「公園2.0」を実現するOKAYAMA-BID

BID (Business Improvement District) とは、エリア内の事業者や不動産所有者がお金を出し合い、まちの環境改善や活性化を自主的に行う仕組み。下石井公園のまわりには、優良な企業やお店が多くあります。まずは協賛金を集めて、公園の環境整備に協賛してもらうことから。この仕組みを岡山らしく編集し直して、実現できる道を探っていきます。この仕組みの良さは、公園を使う人だけでなく、周りで見守る大人たちの「関わる」意識が変わること。みんなで公園を支えれば、新しい公園の使いかたも進みます。ゆくゆくは西川エリア全体への広がりも夢ではありません。



ほり ひろふみ
岡山大学 准教授 堀 裕典さん

私の夢は、下石井公園をBID化することです。BID化の良さは、公園を直接利用する人だけでなく、周りで見守る人たちの意識が変わること。まずは『下石井公園を良くしようの会』から始めてみてはいかがでしょう

park 1

「リフティング教室」



講師はフリースタイルフットボーラーのGENさん。リフティングは半径1メートルのスペースがあればできて、ボールが転がりにくいから公園遊びにぴったりです。最初のレッスンは「芝生を大切にすること」。リズベクトと自由のバランスを学べば、ボール遊びはもっと楽しくなります。

あそびも学びも、ぜんぶ芝生の上で 公園を楽しくするアイデアたち

下石井公園では、市民や学生、企業が仕掛ける企画が春夏秋冬目白押し。あそぶ、学ぶ、きれいにする。これはすべて暮らしの営み。公園が誰もが楽しく暮らせるまちを醸成します。

「ハレ犬」

人と動物が共に居心地よく過ごせるまちを目指す、無料のドッグトレーニングイベント。芝生のペットOKエリアで、獣医師のレクチャーやトレーナーの基礎トレーニングなど、飼い主と愛犬と一緒に学べる貴重な機会です。



「ハレマ」

「おいしい」をみせあうがコンセプト。無農薬・自然栽培の生産者と、その食材の魅力を伝える名飲食店が集うファーマーズマーケット。生産者の想いごと味わえる一皿にも出会えます。公園の機能をそのまま保つため、敷地の3分の1を使って開催。

「お花見ピクニック」

地元の人たちに愛される下石井公園の桜並木は、マチナカのお花見スポットとしても親しまれています。この場所らしいお花見の過ごし方を提案するイベントとして開催。人と人がゆるやかに繋がり、芝生の上でごきげんな会話が生まれます。



撮影：山下リール [Little one]・（一社）ふらっと西川



■ NISHIGAWA RYOKUDOKOEN

(夜も楽しい満月BAR)



撮影：山下リール [Life me]・(一社) おらっと西川

2012年から続く野外ダイニングバー。春から秋、満月に近い土曜の夜に野殿橋ステージ付近で開かれます。周辺飲食店の料理をお店の場で提供。代々、まちの学生や若者たちが運営を受け継ぐ、西川エリア自慢の夜です。

DATA

西川緑道公園 (にしがわりよくどうこうえん)
岡山市北区平和町ほか (全長約2.4km)

column

あの旧交番が、 まちの拠点に生まれ変わる 旧西川橋交番 リノベーション・プロジェクト

西川緑道公園と桃太郎大通りの交差点に立つ旧西川橋交番。1985年に建てられた円すい形の緑色の屋根がチャームな建物は、地域のアイコンとして親しまれてきましたが、2024年3月、交番としての役目を終え、解体される予定でした。そこで手を挙げたのが西川エリアで活動する都市再生推進法人・一般社団法人ふらっと西川です。まち育ての活動拠点に、観光案内の機能を加えて地域住民や来訪者との出会いや交流を促進する施設に再生する提案をしました。「都市公園リノベーション協定」という新しい制度を使い、建物は県から市へ、市からふらっと西川へと引き継がれます。賑わいが生まれ、愛着ある景色が残せる、三方良しの取り組み。水と緑の回廊の入口で新しい物語が始まります。



桃太郎大通りに面した旧西川橋交番。まちのシンボルだった拠点が生まれ変わります。



リノベーション前の内部。リノベーションの様子をインスタで発信中。
@piat_nishigawa_okayama

park 2

西川緑道公園

OKAYAMA RIVER

開設50年、まちを流れる緑の回廊
マチナカを南北に流れる西川用水に沿って、全長約2.4kmの緑の回廊がやさしくつづきます。高度成長期、道路化計画もあった水路を、当時の岡崎平夫市長が「緑と花・光と水」のまちづくりの政策理念を掲げて、整備したのがちょうど50年前。いまでは沿道に飲食店なども増え、観光客にも人気の散策道に。歩行者天国や野外ライブ、生き物観察会&掃除など、市民の活動がぎゅっしり詰まった岡山のシンボルです。

☑ ISHIYAMA PARK, OKAYAMA CASTLE, THE ASAHI RIVER BASIN



石山公園はイベントが盛んな公園。2026年度はリニューアル工事中です



岡山といえば、右に岡山城、真ん中に旭川、左に岡山後楽園のこの風景を思い浮かべるひとが多いのでは



遊覧クルーズではこんなに近くで岡山城を眺めることができます

park 4

石山公園・岡山城・旭川流域

日常と非日常がまざる
岡山の顔

岡山後楽園と岡山城、旭川が織りなす岡山カルチャーゾーンの入口にあるのが石山公園です。散歩やジョギングをする市民と観光客が自然に行き交い、日常と非日常が重なり合っ、マチナカでも少し特別な公園。ここから乗れるのが「おかやま旭川遊覧クルーズ」です。岡山後楽園と岡山城を川から眺める約30分の船旅は、天満屋を中心に地元企業32社が出資

して運営。旭川は蒜山高原から瀬戸内海へ注ぐ一級河川で、かつては高瀬舟が行き交いました。水面に近い目線で見上げる鳥城は、船に乗った人だけの特権です。元百貨店外商の羅無啓文さんをはじめ、スタッフのおもてなしも評判で、冬には湯たんぽのサービスも。隣の旧市民会館跡地では公園整備の計画も進み、このエリアはますます楽しみにされます。川の上から、岡山の目標の風景を、まるごと味わってください。

DATA

石山公園（いしやまこうえん）
岡山市北区石岡町
路面電車「城下」下車、徒歩約5分

☑ OKAYAMA PREFECTURAL MULTIPURPOSE GROUNDS

park 3

岡山県総合グラウンド

運動に特化した
ウェルビーイングな公園

「運動公園」の愛称で親しまれる岡山県総合グラウンドは、マチナカ屈指の広さを誇る、まさに「運動のための公園」です。シンボルは「Jリーグ・ファジアーノ岡山」のホーム「市晴れの国スタジアム」。試合の日には、ユニフォーム姿のサポーターが駅前から続々と歩き、まち全体が応援の空気に包まれます。スタジアムの外周にはグルメが並ぶファジーズも登場



各種スポーツ施設はもちろん、遠泳（1）もあり

ファジウォーカー

ファジアーノ岡山のホームゲーム開催日に、徒歩・自転車・公共交通でのスタジアム来場を応援する産官学連携のプロジェクト。渋滞や迷惑駐車を減らし、健康増進や環境にもやさしいアクセスです。2019年の調査では、自家用車の利用者を約1割、年間4,000台以上減らすことに成功しました。

岡山大学 准教授
うじはら たけひと
氏原 岳人さん



私はファジアーノを地域の資源だと考えています。『もし車以外で来るとしたら？』と考えてみると、意外と公共交通で行けて、お酒も飲めると気づく。行動が変わるんです

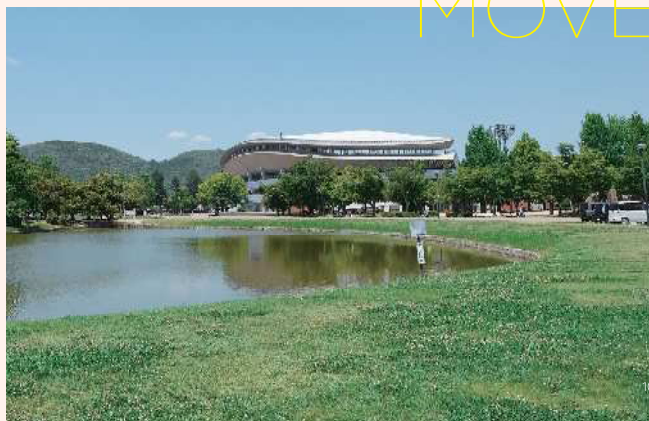
し、お祭り気分も満点です。ふたんの公園は、広場でトレーニングに励む人や、芝生でのんびりくつろぐ家族の居場所。さまざまなスポーツに対応した広い公園では、夢を追って黙々と自主練に打ち込む若者たちも集まります。限られた環境で工夫する力、新しいカルチャーがここから育っていく。観る人もする人も、それぞれの楽しみ方ができる公園です。

DATA

岡山県総合グラウンド（おかやまけんそうごうグラウンド）
岡山市北区いずる町
JR岡山駅から徒歩約20分

ENJOY

MOVE



のそばにある みんなの すぐ公園

近所の遊び場も、
通りのベンチも、
地下の噴水広場も。
あなたのすぐそばで、
今日もだれかの
居場所になっています。

西中山下公園
みんな大好き「タコ公園」
あの真っ赤なタコが復活！
正式名称より「タコ」の
愛称で親しまれる、まちの
人気者。昭和から愛されて
きたタコのすべり台は、老
朽化による撤去の危機を市
民の声が救い、同じ姿・同
じ赤色で復活しました。向
かいには新しい公民館も併
設され、市民の集いを後押
しします。

DATA
西中山下公園（にしなかさんげこうえん）
岡山市北区番山町 岡山中央中学校に隣接



2026年「中央公民館」がオープン。
タコ公園のお隣です。

タコの遊具が撤去されると
知った市民から、市役所に問
い合わせが次々と届きました。
「主にごうなるの？」。担当
した北区地域整備課も驚
くほどの反響です。地元と思
い入れを受けて、タコは同じ
形、同じ真っ赤な色で復活。
既製品は本来ピンク色です
が、上から赤く塗って、みん
なの記憶のタコを再現しまし
た。復活を喜ぶ声は新聞や
SNSも広がり勢みになった
そう。この公園、すてきた
ね。そんな何気ない声も、
ちんととまると届いています。
あなたの「好き」の声も、まち
をつくるのです。

東中山下公園

よじ登れば、まちが見える

名物はコンクリートの山。マチナ
カとは思えない豊かな緑に囲
まれた昔ながらの街区公園。
いちばんの名物は、よじ登っ
て遊べるコンクリートの山型
遊具です。すべり台やブラン
コ、大きな砂場もそろい、放
課後は子どもたちの元気な声
がひびきます。

DATA
東中山下公園（ひがしなかさんげこうえん）
岡山市北区中山下



水之手公園

京橋朝市すぐそばのオアシス

3つのアーチがお出迎えして
くれる、小さめながらしっか
り遊具のある公園。日陰のあ
るベンチもあり、県庁のそば
にあることからサラーマン
のオアシスとしても人気で、
ランチタイムなどのひととき
のくつろぎにオススメです。

DATA
水之手公園（みずのてこうえん）
岡山市北区内山下一丁目



野田屋町公園

駅チカの隠れ家的広場

都会派のオアシスへ岡山駅か
ら歩いてすぐの都市型公園。
レンガのモニュメントと木々
が、ビル谷間にはっと落ち
着きをつくります。買い物や
仕事の合間に、ベンチでちよ
っとひとやすみ。そんな使い
方が似合う公園です。

DATA
野田屋町公園（のだやちやうこうえん）
岡山市北区野田屋町
JR岡山駅から徒歩約5分



下田町公園

西川緑道公園の下流域

東西に長い長方形で広々とし
ており、グラウンドで思い切
り遊べる様子が魅力。ユ
ニークなのが園内に冠正稲荷
大明王が祀つてあること。お
稲荷さんにご挨拶できる公園
です。すぐちかくの西川緑道
公園には「はたるみ」もあり。

DATA
下田町公園（しもたまちこうえん）
岡山市北区中央町



桑田公園

昔の名残りを今に残す

桑田中学校に隣接する桑田公園といえは、ラジオ塔。ラジオ塔とは、街頭テレビのラジオ版で、進行く人たちがラジオを聞くことができる場所でした。今も公園でラジオ塔をみることが出来ます。駅から徒歩圏内、周りにグルメスポットも多いことから、観光客も訪れるスポットになっています。

DATA
桑田公園（くわたこうえん）
岡山市北区桑田町



旭川第一緑地

川の中州でスケボー解禁

川辺で気軽に練習を旭川の中州にある緑地で、スケートボードパークの社会実験を2024年に実施しました。今では、初心者でも気軽に練習できる場に、旧城下町エリアの新しいカルチャー拠点として挑戦の場にも。

DATA
旭川第一緑地（あさひがわだいいちりょくち）
旭川市旭川、相生橋付近



奉還町遊園地

下町風情あふれる奉還町のミニ公園

奉還町の隠れ家のような裏路地の小さな公園。近所の人々が毎年楽しみにしているのは、『桜。こどもまりとした公園ですが、昔なると立派な桜の木が大輪を咲かせ、買い物や散歩がてらお花見が楽しめます。近所さんだけでなく、おしゃれな大学生など様々な人々がくつろいでいるのも魅力です。

DATA
奉還町遊園地（ほうかんちょうゆうえんち）
岡山市北区奉還町三丁目
JR岡山駅西口から徒歩約5分



新庁舎十大供公園

みらいの公園、準備中

公園一体型の庁舎へ2026年5月に完成予定の岡山市新庁舎。いまの庁舎の跡地には、あたらしい大供公園と広場が生まれる計画です。コンセプトは「緑でつながる憩いと賑わいの場」。公園と一体になった、みんなに開かれた庁舎が誕生します。

DATA
大供公園（おおいこうえん）
岡山市北区大供一丁目
JR岡山駅西口から徒歩約15分



ハレまち通り

通りなのに、公園みたいな開放感

ベンチがつくる風景。車線化で広くなったハレまち通りの歩道には、常設ベンチが点在しています。ジュースを片手にひとやすみしたり、待ち合わせやおしゃべりをしたり。座る人がいる風景が、通りをまるで公園のように変えています。

DATA
ハレまち通り（はれまちどおり）
岡山市北区庄町一丁目ほか
JR岡山駅西口から徒歩約10分



城下地下広場

まちの地下に、噴水がある？！

愛称は「しろろち」。岡山カルチャーゾーンの交差点の地下に、噴水やベンチ、多肉植物園まである広場が広がります。光と音で表情を変える噴水を眺めてひとやすみ。マルシェやダンスイベントの舞台にもなる、雨の日も頼れる居場所です。

DATA
城下地下広場（しろしたちかひろば）
岡山市北区夫の内一丁目
路面電車「城下」電停直結



A PARK CLOSE TO EVERYONE

柳川交差点 広場

ぐるぐるロータリーが憩いの場に

柳川交差点といえは、大きな円を描く歩道です。じつはここ、車がぐるぐるまわるロータリーにする計画でした。けれど交通量が増え、ふつうの十字の交差点に。円のかたちだけが残り、内側のすきまは緑地になりました。いまは木陰のベンチが置かれ、街なかでひと息つける広場になっています。

DATA
柳川交差点（やながわこうさてん）
岡山市北区野田原町一丁目ほか
路面電車「柳川」電停すぐ



弓之町公園

カルチャーゾーンに寄り添う

路面電車「城下」電停から歩いて5分、岡山県立美術館やオリエント美術館、天神山プラザなどカルチャーゾーンのすぐそばにある公園。木陰、すべり台にブランコ、鉄棒、砂場など遊具も充実、教会のチャペルが目印です。

DATA
弓之町公園（ゆみのちょうこうえん）
岡山市北区天神町
路面電車「城下」電停から徒歩約5分



岡山の人は、
余白の使い方が
どうにも、上手でした。



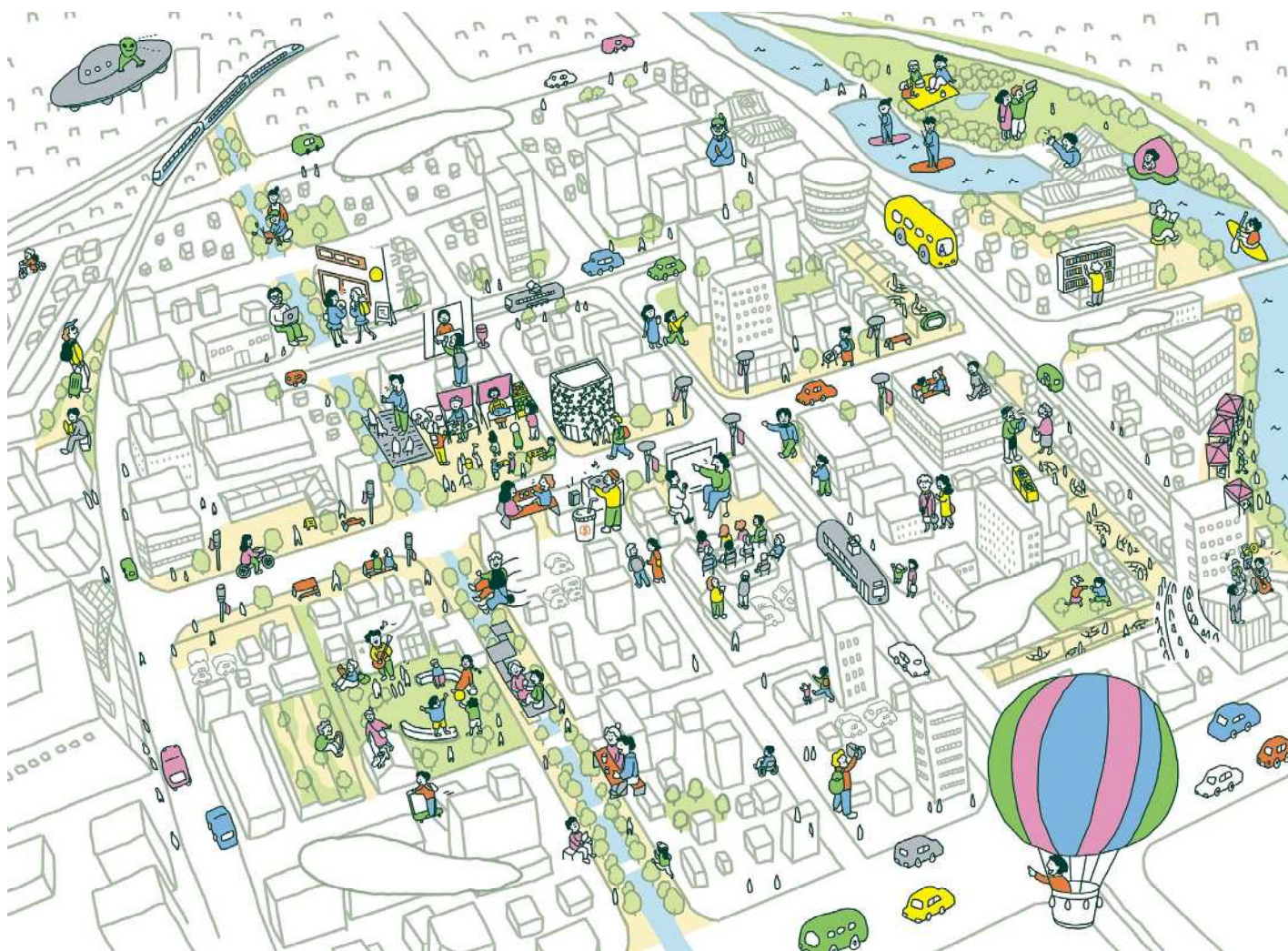
タコのすべり台が復活したと知ったときマチナカ育ちの中学生は言いました。「復活してくれた人は俺たちの恩人だ」。何の恩人かといえば、きっと青春の恩人。また撤去の危機を救ったのは市民の「タコを残して」という声でした。

公園は、まちに在るだけで、心を動かすような場所になるのでしょうか。それはイエスでありノー。下石井公園で、リフティングの先生・GENさんが、子どもたちに最初に教えたのは、技ではなく「芝生を大切にすること」でした。大人気のマーケット「ハレマ」は、いまま公園の3分の1しか使いません。残りの3分の2は、みんなのいつでもどおりの日常のために空けています。読書の静けさと、ボールの音と、犬の足音が、同じ芝生に同居する。ちがう楽しみが隣り合っても、誰も眉をひそめない。多様性を享受して、みんなの良さが育ち合う時は、案外こういう屋下がりかもしれません。

岡山らしい公園ってなんだろう。たどり着いた答えは「余白」です。使い方が決まられていない、まちの空きスペース。目的がなくても、ただ居ていい。岡山の人は、この余白の使い方がどうにも上手でした。マチナカは今日もおおらかに混ざりあっていきます。

あなたは公園に何を持ち寄りますか。
明日も岡山は、たぶん晴れです。





ハレまちな日常 book / vol.3

発行日 2026年3月31日
 発行 岡山市 都市整備局 庭園都市推進課 街なかにぎわい推進室
 企画 下石井公園管理運営・実証実験共同事業体
 (まめくらし・岡山障害者文化芸術協会・ぶらっと西川・マルゴ德利)
 編集・執筆 アサイアサミ [ココホレジャパン]
 写真 宮田サラ [まめくらし]・永田詩織 [ココホレジャパン]
 デザイン 福江真弓 [cavum]



岡山市中心市街地の地域情報を発信するメディア
 岡山市公式 note 「マチナカノススメ」